2026 年度 2027 年度

学生募集要項

博士前期課程

国際開発専攻
国際医療協力専攻
グローバル・コミュニケーション専攻

博士後期課程

開発問題専攻

■夏季入試

２０２６年８月　１日(土)

■冬季入試

２０２７年１月２５日(月)

杏林大学大学院 国際協力研究科

～　出願を考えている受験生の方へ　～

　アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーをご理解のうえ、巻末にある指導教員研究概要を参考に、専門分野、指導教員のご確認をお願いします。
　また、研究内容について、予め指導教員に相談してから出願することをお勧めします。指導教員の連絡先については、大学ＨＰで検索するか、下記宛に連絡をください。
kenkyuc@ks.kyorin-u.ac.jp（国際協力研究科）

国際協力研究科の理念とアドミッションポリシー

［理念・目的］

国際協力研究科は、国際社会において発生する様々な課題を、法律、政治、経済、経営、文化交流、言語、医療、保健衛生、福祉など多くの側面から学際的に把握し、理論的かつ実証的に問題を分析して的確に処理できるような人材を育成し、国際社会に対する支援・協力を推進することを目的とする。

［アドミッションポリシー］

国際協力研究科は、本研究科の理念・目的を理解し、その達成に真摯に取り組む意欲のある人材を求めている。具体的には、次のような資質を持つ学生を求めている。

国際開発専攻

(1) 求める学生像、資質

(1-1) 国際開発に対する高い関心

世界諸地域の経済社会の発展に寄与することに関心があり、 社会科学的研究を遂行するのに適した問題意識と能力を有する人

(1-2) 研究、問題解決への意欲

研究課題に対して科学的にアプローチし、理論的・実証的・政策的に分析して解明する能力・技術を習得し、研究成果を実践活動に生かして国際開発に関する問題を解決したいという意欲がある人

(1-3) 高度専門職業人への意欲

国際協力を先導的に推進する高度専門職業人を目指し、それに必要な諸技能を修得したいという意欲が高い人

(2) 求める学習成果

「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）及び「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力を備えた人を求める。

(2-1) 国際開発の実践に必要な論理を修得する知識と能力を有している。（知識）

(2-2) 課題を自ら発見し、分析して問題を処理する技能を修得する意欲と能力を備えている。（思考力・判断力）

(2-3) 高度専門職業人として必要な諸技能を修得する意欲と能力を備えている。（態度・技能）

(2-4) 自立して研究課題を設定・遂行し、その成果を生かす技能を修得する意欲と能力を備えている。（研究遂行能力）

国際医療協力専攻

(1) 求める学生像、資質

(1-1) 国際医療協力に対する高い関心

世界諸地域のさまざまな保健医療福祉問題について関心が高く、その改善に情熱を持ち、効果的で望ましい国際協力のあり方を探求している人

(1-2) 研究、問題解決への意欲

国際社会で発生する様々な保健医療福祉問題について自ら課題を見つけようとする意欲がある人

研究課題に対して科学的にアプローチし、理論的・実証的に分析して解明する能力・技術を修得し、研究成果を実践活動に生かして国際保健医療に関する問題を解決したいという意欲がある人

(1-3) 高度専門職業人への意欲

国際協力を先導的に推進する高度専門職業人を目指し、それに必要な諸技能を修得したいという意欲が高い人

(2) 求める学習成果

「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）及び「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力を備えた人を求める。

(2-1) 国際医療協力の実践に必要な論理を修得する知識と能力を有している。（知識）

(2-2) 課題を自ら発見し、分析して問題を処理する技能を修得する意欲と能力を備えている。（思考力・判断力）

(2-3) 高度専門職業人として必要な諸技能を修得する意欲と能力を備えている。（態度・技能）

(2-4) 自立して研究課題を設定・遂行し、その成果を生かす技能を修得する意欲と能力を備えている。（研究遂行能力）

グローバル・コミュニケーション専攻

(1)求める学生像、資質

（1-1）グローバル社会における適性と高い関心

通訳や翻訳をはじめとする言語コミュニケーションの分野に関心があり、理論と実践、幅広い知見と深い洞察をもとにこの分野の先導的な役割を担うのに適した問題意識と能力を有する人

（1-2）研究、問題解決への意欲

研究課題に対して科学的にアプローチし、理論的・実証的に分析して解明する能力・技術を修得し、研究成果を実践活動に生かして言語コミュニケーションに関する問題を解決したいという意欲がある人

（1-3）高度専門職業人への意欲

国際協力を先導的に推進する高度専門職業人を目指し、それに必要な諸技能を修得したいという意欲が高い人

(2) 求める学習成果

「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）及び「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力を備えた人を求める。

（2-1）グローバル・コミュニケーションを国際的知見、異文化間的視座をもって実践するに必要な論理を修得する知識と能力を有している。（知識）

（2-2）課題を自ら発見し、分析して問題を処理する技能を修得する意欲と能力を備えている。（思考力・判断力）

（2-3）高度専門職業人として必要な諸技能を修得する意欲と能力を備えている。（態度・技能）

（2-4）自立して研究課題を設定・遂行し、その成果を生かす技能を修得する意欲と能力を備えている。（研究遂行能力）

開発問題専攻

(1) 求める学生像、資質

（1-1）国際社会に対する高い関心

国際社会において発生する様々な課題を、多くの側面から学際的に取り組む意志を持った人

（1-2）実際的諸問題解決への意欲

開発協力にともなう諸問題に関して、言語や文化、社会に生起する具体的、実際的諸問題について究明する意欲を持つ人

（1-3）高度専門職業人への意欲

国際協力を先導的に推進する高度専門職業人を目指し、それに必要な諸技能を修得したいという意欲が高い人

（1-4）問題解決に向け高い倫理観を持って自立して研究課題を設定し、研究活動の実践によりその成果を生かすことができる人

(2) 求める学習成果

「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）及び「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力を備えた人を求める。

（2-1）高度な専門的知見を備え、独創的構想を提起できる。（専門的知識）

（2-2）入学後の修学に必要な基礎学力としての高度な外国語能力を身につけている。（専門的技能）

（2-3）開発にともなって生じる社会構造および社会組織のさまざまな変容について、その要因、過程、結果を地域社会固有の言語、生活様式、文化などの諸側面からとらえることができる。（問題解決能力）

（2-4）研究計画を立案・遂行し、論文を作成する基礎的能力を養うことができる。（研究遂行能力）

カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーは、
本学ホームページに掲載されております。

杏林大学大学院国際協力研究科3つのポリシー

博士課程

修士課程

募集人員

課程区分	専　　攻	募集人員	入試区分
博士前期課程	国際開発	6名	一般選抜 学内推薦選抜（専願） 留学生特別選抜 社会人特別選抜 国際協力特別選抜
	国際医療協力	4名	
	グローバル・コミュニケーション	10名	
博士後期課程	開発問題	5名	一般選抜 留学生選抜 社会人特別選抜

入試日程

※詳細は記載のページをご確認ください。

入試日程	夏季入試	冬季入試
入学希望時期	2026 年度秋学期入学 2027 年度春学期入学	2027 年度春学期入学 2027 年度秋学期入学
出願資格審査提出期間 （修士:出願資格有無確認願 博士:事前審査願）	2026 年 6 月 8 日(月)～ 6 月 16 日(火) 必着	2026 年 11月30日(月)～12 月 8日(火) 必着
出願期間	2026 年 7 月 1日(水)～ 7 月 10 日(金)必着	2026 年 12 月 17 日(木)～2027 年 1 月 7 日(木)必着 12/29～1/3 休業
試験日	2026 年 8 月 1日(土)	2027 年 1 月25日(月)
合格発表	2026 年 8 月 6日(木)12 時 00 分	2027 年 1 月 28日(木)12 時 00 分
入学手続期間	2026 年 8 月 17 日(月)15 時 00 分まで	2027 年 2 月 8日(月)15 時 00 分まで
既納付金返還期日	(秋学期入学) 2026 年 9 月 11 日(金)15 時 00 分まで (春学期入学) 2027 年 3 月 26 日(金)15 時 00 分まで	(春学期入学) 2027 年 3 月 26 日(金)15 時 00 分まで (秋学期入学) 2027 年 9 月 10 日(金)15 時 00 分まで
入学式	[秋学期]2026 年 9 月 15 日(火) [春学期]2027 年 4 月 4 日(日)	[春学期]2027 年 4 月 4 日(日) [秋学期]2027 年 9 月(日程未定)

注 意 事 項

① 夏季入試 出願時に、**2026 年秋学期(9 月)入学**か **2027 年春学期(4 月)入学**のどちらかを選択することができます。同様に冬季入試 出願時に、**2027 年春学期(4 月)入学**か **2027 年秋学期(9 月)入学**のどちらかを選択することができます。 **(※出願後の入学時期変更はできません。)**

② 日本国外からの受験者については、ビザ取得の関係上、半年後の入学とします。
よって、夏季入試で受験し、合格した場合は、2027 年春学期(4 月)入学となり、
冬季入試で受験し、合格した場合は 2027 年秋学期(9 月)入学となります。

③ 受験上・修学上の配慮が必要な方は下記リンクをご参照ください。
https://www.kyorin-u.ac.jp/univ/center/nyugaku/support/index.html

修士課程

博士前期（修士）課程

Ⅰ　出願資格

次の 1～7 のいずれかに該当する者（8～12 に該当する者はそれぞれの要件を満たすこと）

1	大学を卒業した者または本大学院入学までに卒業見込みの者
2	学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者または本大学院入学までに授与される見込みの者
3	専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者あるいは本大学院入学までに修了見込みの者
4	外国において学校教育における１６年の課程を修了し、学士の学位を授与された者または本大学院入学までに授与される見込みの者
5	文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
6	大学に 3 年以上在学し、または外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本大学院が認めた者　**※注意事項確認**
7	本大学院が、上記 1 と同等以上の学力を有すると認めた者で入学時において 22 歳に達している者 **※注意事項確認**
8	学内推薦入試は、本学学部の卒業見込みの者でゼミ指導教員の推薦書があり専願とする。出願時までの通算成績の GPA が 2.7 以上の者
9	社会人特別選抜を希望する者で、以下の要件を満たす者 学士の学位取得後 2 年以上の在職経験を有する者 （国際医療協力専攻を希望する者は､日本国の医療系専修学校を修了後 2 年以上の在職経験を有する者も対象とする。）
10	国際協力特別選抜を希望する者は、出願時点で 1 年以上の青年海外協力隊などの国際貢献活動経験を有し、当該機関・団体から推薦を得られる者
11	日本国籍でない者（外国籍の者）は、出入国管理及び難民認定法（昭和 26　年政令第 319　号）において大学院入学に支障のない在留資格を有している者
12	日本国籍でない者（外国籍の者）は、国際交流基金･㈶日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験Ｎ２」合格以上のレベルであること グローバル・コミュニケーション専攻のうち 日中通訳翻訳研究を希望する者で第一言語が日本語である者は、「ＨＳＫ（漢語水平考試）５級」以上、第一言語が日本語でない者は国際交流基金･㈶日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験Ｎ１」を取得していること グローバル・コミュニケーション専攻言語・教育研究を希望する者で 第一言語が日本語でない者は、「日本留学試験（日本語）」を受験済みであり［成績通知書］または、日本語能力試験［日本語能力試験認定結果および成績に関する証明書］の書類の写しを提出できること

注 意 事 項

留学生特別選抜、社会人特別選抜、国際協力特別選抜及び「出願資格 6.7」により出願しようとする者については、出願資格有無確認を行います。
該当者は「**Ⅱ　出願資格有無確認**」の手続きを行ってください。

修士課程

Ⅱ　出願資格有無確認

留学生特別選抜社会人特別選抜、国際協力特別選抜及び「Ⅰ出願資格 6.7」で出願を希望する者は**出願資格有無確認**を行います。

出願資格有無確認提出期間内に出願資格有無確認書類一式を提出してください。なお、出願資格有無確認書類を郵送する場合は、配達状況が記録される**書留**または**レターパック**で、郵送してください。本学で出願資格を確認後、**[出願資格有無結果通知書]**を送付します。

送付された**[出願資格有無結果通知書]**で出願資格を有すると認定された者は、の「Ⅲ 出願方法」に従い出願書類を提出してください。

出願資格有無確認書類提出期間

夏季入試	冬季入試
2026 年 6 月 8 日(月)～6 月 16 日(火)必着	2026 年 11 月 30 日(月)～12 月 8 日(火)必着

提出書類等

提 出 書 類 等	書類作成上の注意
① 履　歴　書	[所定用紙]
② 研究計画書	[所定用紙]
③ 国際協力活動の概要	国際協力特別選抜を希望する者のみ提出してください。 Ａ４版用紙（縦長・横書）に、出願者が行ってきた国際協力活動と研究計画との関連性について具体的に日本語で 2,000 字程度にまとめたもの。
④ 卒業（見込）証明書	最終出身大学長等より交付されたもの。 証明書氏名に改姓のある者は戸籍抄本を添付してください。
⑤ 成績証明書	最終出身大学長等より交付されたもの。
⑥ 学位記の写し	外国の大学を卒業した者のみ提出してください。(卒業証書の写し、もしくは、学位授与証明書)
⑦ 推　薦　書	[所定用紙]　推薦書は厳封のこと。 最終出身大学の指導教員または所属機関の上司などによるもの。
⑧ 語学検定等証明書 (グローバル・コミュニケーション専攻 のみ)	下記の出願資格要件を満たす語学検定の証明書を提出してください。 １．日中通訳翻訳研究： 〈第一言語が日本語以外〉 国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験Ｎ１」の写し 〈第一言語が日本語〉 「ＨＳＫ(漢語水平考試)５級」以上の書類の写し ２．言語・教育研究： 〈第一言語が日本語以外〉 ・日本留学試験(日本語)の「成績通知書」または、日本語能力試験「日本語能力試験認定結果および成績に関する証明書」の書類の写し
⑨ 旅券・査証の写し および住民票	**※外国籍の方のみ提出してください。** 日本に居住する者は、在留カードの写し(両面)、住民票、パスポートの写し(ビザと顔写真のページ)を提出してください。 日本国外に居住する者は、パスポートの写し(顔写真のページを提出してください。
⑩ 出願資格有無確認願	[所定用紙]
⑪ 返信用封筒 （※切手貼付）	**各自、市販の封筒(長３タイプ(12cm×23.5cm)を用意してください。(定型封筒)** 封筒に出願者の郵便番号、住所、氏名を明記し切手を貼付してください。 なお、日本国外からの出願者は国際協力研究科入試係へ問い合わせてください。

提出した書類は、返却できません。

修士課程

Ⅲ　出願方法

出願期間内に出願提出書類等を取り揃えて提出してください。

（１）出願期間

夏季入試	冬季入試
2026 年 7 月 1 日(水)～ 7 月 10 日(金)必着	2026 年 12 月 17 日(木)～ 2027 年 1 月 7 日(木)必着 12/29～1/3 休業

（２）出願提出書類等

出願提出書類等	書類作成上の注意	一般選抜 学内推薦選抜	出願資格 有無確認を 受けた者
① 入学願書	［所定用紙］　（写真添付 ＊）	○	○
② 履　歴　書	［所定用紙］	○	
③ 健康診断書	［所定用紙］　出願前６か月以内に医師により作成されたもの。 ※本学学生は、学内の証明書自動発行機の証明書でも可とします。	○	○
④ 受験票・写真票	［所定用紙］　（写真添付 ＊：それぞれ１枚）	○	○
⑤ 受験票在中封筒	［本学所定の封筒もしくは市販の封筒(長３タイプ(12cm×23.5cm))］本人の郵便番号、住所、氏名を明記し、速達料金分の切手を貼付してください。	○	○
⑥ 研究計画書	［所定用紙］	○	
⑦ 卒業（見込）証明書	最終出身大学長等より交付されたもの。 証明書氏名に改姓のある者は戸籍抄本を添付してください。	○	
⑧ 成績証明書	最終出身大学長等より交付されたもの。	○	
⑨ 学位記の写し	外国の大学を卒業した者のみ提出してください。 学位記の写しもしくは、学位授与証明書	○	
⑩ 推　薦　書	［所定用紙］　推薦書は厳封のこと。 最終出身大学の指導教員または所属機関の上司などによるもの。	○	
⑪ 語学検定等証明書	出願資格の要件を満たす語学検定等の証明書を提出してください。	○	
⑫ 旅券・査証の写し および住民票 **※外国籍の方のみ**	日本に居住する者は、在留カードの写し(両面)、住民票、 パスポートの写し(ビザと顔写真のページ)を提出してください。 日本国外に居住する者は、パスポートの写し(顔写真のページのみ)を提出してください。	○	
⑬ 保　証　書 **※外国籍の方のみ**	東京都内または近郊に居住する日本人、あるいは日本に勤務している外国人に保証を依頼してください。	○	○
⑭ 入学検定料振込証明書	取扱銀行等の出納印を受け、所定用紙の「貼り付け欄」に貼付してください。	○	○

＊写真について：３枚（縦 4.0cm×横 3.0cm）　　出願前６か月以内のもの。
裏面に氏名を明記して、1:①入学願書　2:④受験票　3:④写真票に貼付してください。
半身、脱帽、正面写し。家庭用テジタルカメラで撮影した写真は不可。

※　1　出願書類の不備なものは、受理できません。
※　2　出願状況に関する問い合せには、一切応じません。
※　3　出願手続き後は、書類の変更は認めません。また、検定料の払い戻しも行いません。
※　4　提出した書類は、返却できません。

修士課程

（３）入学検定料

35,000 円

指定の振込用紙をご使用ください。
手数用は、ご本人負担となります。
振込後、取扱銀行等の出納印を受け、振込証明書を所定用紙の「貼り付け欄」に貼付し出願してください。
ＡＴＭ入金でも構いません。その際、原本を貼付し各自で控えを保管してください。

振込先：三菱 UFJ 銀行西荻窪支店
受取人：（学）杏林学園杏林大学大学院国際協力研究科
預金種類：普通預金
口座番号：１０６１８２６

Ⅳ　試験関連事項

1　試験日程および試験会場

	夏季入試	冬季入試
試験日	2026 年８月 1日(土)	2027 年１月 25 日(月)
試験会場	**井の頭キャンパス（東京都三鷹市下連雀5-4-1）**	

2　試験科目および時間割

入試区分＼時間	10:00～11:00	11:20～12:20	13:00～
一般選抜	外国語［英語］【中国語】	専門科目	面 接
学内推薦選抜			面 接
留学生特別選抜	外国語［日本語］【中国語】	専門科目	面 接
社会人特別選抜		小 論 文	面 接
国際協力特別選抜			面 接

注 意 事 項

提出した書類は、選考対象となる。
① 一般選抜、留学生特別選抜でグローバル・コミュニケーション専攻日中通訳翻訳研究を希望する者は、外国語を【中国語】（翻訳）で受験すること。
② 外国語試験、専門試験、小論文は、試験開始１０分前に試験室へ入室すること。
面接試験は、５分前に入室すること。受験上の諸注意があります。
③ 試験開始から３０分を超えて遅刻した者は、受験することができません。
④ 外国語試験（英語・日本語・中国語）は、辞書のみ持ち込み可とします。ただし、電子辞書は不可です。
使用する場合は、各自持参してください。貸与はしません。
⑤ 試験場には、受験票および筆記用具を持参してください（受験票未着の場合は、試験当日受付に申し出てください）。

専門科目試験は、専攻ごとに次のように実施します。

国際開発専攻	試験時に、以下３つの分野から１科目を選択し、日本語で解答する。 ① 国際政治･経済分野、② 経営分野、③ 法律分野
国際医療協力専攻	→試験時に、以下３つの分野から１科目を選択し、日本語で解答する。 ① 国際保健分野、②社会福祉分野、③ウェルネスツーリズム分野
グローバル・コミュニケーション専攻	試験時に自身の研究分野から、１科目を解答する。 日中通訳翻訳研究希望者：①中国語分野 言語・教育研究希望者：②英語分野　または　③日本語分野　　※出願時に選択

博士課程

博士後期（博士）課程

Ⅰ　出願資格

1	修士の学位を有する者あるいは博士前期（修士）の学位を本大学院入学までに取得見込みの者
2	外国において修士の学位に相当する学位を授与された者あるいは本大学院入学までに学位を　取得見込みの者
3	文部科学大臣の指定した者
	①学士の学位を有し、大学または研究所等において、２年以上研究に従事した者で、本大学院において当該研究の成果等により、上記１と同等以上の学力があると認めた者
	②外国において学校教育における１６年の課程を修了した後、または外国の学校が行う通信 教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した後、大学または研究所等において、２年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、上記１と同等以上の学力があると認めた者
4	本大学院が上記１と同等以上の学力を有すると認めた者で、入学時において２４歳に達している者 **※注意事項確認**
5	社会人特別選抜を希望する者は、学士以上の学位取得後２年以上の在職経験を有する者
6	日本国籍でない者（外国籍の者）は出入国管理及び難民認定法（昭和 26 年政令第 319 号）において大学院入学に支障のない在留資格を有すること
7	日本国籍でない者（外国籍の者）は、原則として、国際交流基金･㈶日本国際教育支援協会が実施する 「日本語能力試験N1」合格の者 日本の大学院博士前期課程を修了した者は、免除とする。

注 意 事 項

留学生選抜・社会人特別選抜及び「Ⅰ　出願資格４」により出願しようとする者については、事前審査を行います。該当者は「**Ⅱ　事前審査**」の手続きを行ってください。

博士課程

Ⅱ　事前審査

留学生選抜、社会人特別選抜および出願資格４で出願を希望する者は**事前審査**を行います。

事前審査書類提出期間内に事前審査書類一式を提出してください。

なお、事前審査書類を郵送する場合は、配達状況が記録される**書留**または**レターパック**で、郵便で郵送してください。

本学で出願資格を確認後、**[事前審査結果通知書]**を送付します。送付された**[事前審査結果通知書]**で出願資格を有すると認定された者は、「Ⅲ 出願方法」に従い出願書類を提出してください。

事前審査書類提出期間

夏季入試	冬季入試
2026 年 6 月 8 日(月)～6 月 16 日(火)	2026 年 11 月 30 日(月)～12 月 8 日(火)

提出書類等

提出書類等	書類作成上の注意
① 履　歴　書	[所定用紙]
② 研究計画書	[所定用紙]
③ 修士論文 またはそれに準ずるもの（コピー可）および論文等の要旨	各３部 ただし本学大学院博士前期（修士）課程修了者および修了見込み者の場合は、修士論文の要旨３部のみを提出してください。
④ 博士前期(修士)課程修了(見込み)証明書 または、卒業証明書もしくは学位授与証明書	最終出身大学長等より交付されたもの 証明書氏名に改姓のある者は戸籍抄本を添付してください。
⑤ 成績証明書	最終出身大学長等より交付されたもの。
⑥ 推 薦 書	[所定用紙]　最終出身大学の指導教員または所属機関の上司などによるもの推薦書は厳封のこと。
⑦ 実務経験報告書 **（※社会人特別選抜のみ）**	[形式自由]　研究者、実務家の経験を有する場合、大学卒業後または大学院修了後の実務経験を詳細に記載したもの
⑧ 語学検定等証明書	該当する者のみ提出してください。
⑨ 旅券・査証の写し及び住民票 **※外国籍の方のみ**	**日本に居住する者**は、在留カードの写し(両面)、住民票、 パスポートの写し(ビザと顔写真のページ)を提出してください。 **日本国外に居住する者**は、パスポートの写し(顔写真のページ)を提出してください。
⑩ 事前審査願	[所定用紙]
⑪ 返信用封筒 （※切手貼付）	**各自、市販の封筒(長３タイプ(12cm×23.5cm)を用意してください。(定型封筒)** 封筒に出願者の郵便番号、住所、氏名を明記し切手を貼付してください。 なお、日本国外からの出願者は国際協力研究科入試係へ問い合わせてください。

※本学大学院博士前期（修士）課程修了者および修了見込み者は、④、⑤、⑥の書類の提出は不要です。

提出した書類は、返却できません。

博士課程

Ⅲ　出願方法

出願期間内に出願提出書類等を取り揃えて提出してください。

（1）出願期間

夏季入試	冬季入試
2026 年 7 月 1 日(水)～ 7 月 10 日(金)必着	2026 年 12 月 17 日(木)～ 2027 年 1 月 7 日(木)必着 12/29～1/3 休業

（2）出願提出書類等

出願提出書類等		書類作成上の注意	一般選抜	事前審査を受けた者
①	入学願書	［所定用紙］　（写真添付 ＊）	○	○
②	履歴書	［所定用紙］	○	
③	健康診断書	［所定用紙］　出願前 6 か月以内に医師により作成されたもの。本学院生は、学内の証明書自動発行機の証明書でも可とします。	○	○
④	写真票・受験票	［所定用紙］　（写真添付 ＊：それぞれ 1 枚）	○	○
⑤	受験票在中封筒	［本学所定の封筒もしくは市販の封筒(長 3 タイプ(12cm×23.5cm))］本人の郵便番号、住所、氏名を明記し、速達料金分の切手を貼付してください。	○	○
⑥	研究計画書	［所定用紙］	○	
⑦	修士論文またはそれに準ずるもの(コピー可)および論文等の要旨	各 3 部 ただし本学大学院博士前期（修士）課程修了者および修了見込み者の場合は修士論文の要旨 3 部のみを提出してください。	○	
⑧	博士前期(修士)課程修了(見込み)証明書または、卒業証明書もしくは学位授与証明書	最終出身大学長等より交付されたもの ※証明書氏名に改姓のある者は戸籍抄本を添付してください。	○	
⑨	成績証明書	最終出身大学長等より交付されたもの	○	
⑩	推薦書	［所定用紙］ 最終出身大学の指導教員または所属機関の上司などによるもの。厳封のこと。	○	
⑪	語学検定等証明書	該当する者のみ提出してください。	○	
⑫	旅券･査証の写し 及び住民票 **※外国籍の方のみ**	日本に居住する者は、在留カードの写し(両面)、住民票、パスポートの写し(ビザと顔写真のページ)を提出してください。 日本国外に居住する者は、パスポートの写し(顔写真のページ)を提出してください。	○	
⑬	保証書 **※外国籍の方のみ**	東京都内または近郊に居住する日本人、あるいは日本にある公的機関に勤務している外国人に保証を依頼してください。	○	○
⑭	入学検定料振込証明書	取扱銀行等の出納印を受け、所定用紙に貼付してください。	○	○

＊写真について：3 枚（縦 4.0cm×横 3.0cm）　　出願前 6 か月以内のもの。
裏面に氏名を明記して、1:①入学願書　2:④受験票　3:④写真票に貼付してください。
半身、脱帽、正面写し。家庭用テジタルカメラで撮影した写真は不可。

※　1　出願書類の不備なものは、受理できません。
※　2　出願状況に関する問い合せには、一切応じません。
※　3　出願手続き後は、書類の変更は認めません。また、検定料の払い戻しも行いません。
※　4　**本学大学院博士前期（修士）課程修了者および修了見込み者は、⑨、⑩、⑪の書類の提出は不要です。**
※　5　提出した書類は、返却できません。

博士課程

（３）入学検定料

35,000 円

指定の振込用紙をご使用ください。
手数用は、ご本人負担となります。
振込後、取扱銀行等の出納印を受け、振込証明書を所定用紙の「貼り付け欄」に貼付し出願してください。
ＡＴＭ入金でも構いません。その際、原本を貼付し各自で控えを保管してください。

振込先：三菱 UFJ 銀行西荻窪支店
受取人：（学）杏林学園杏林大学大学院国際協力研究科
預金種類：普通預金
口座番号：１０６１８２６

Ⅳ　試験関連事項

1　試験日程および試験会場

※予備日は受験生が指定するものではありません。

	夏季入試	冬季入試
試験日	2026 年８月 １日(土)	2027 年１月 25 日(月)
試験会場	**井の頭キャンパス（東京都三鷹市下連雀5-4-1）**	

2　試験科目および時間割

時間 / 入試区分	10:00～11:00	11:20～12:20	13:00～
一般選抜	外国語［英語］	小論文	口述試験
留学生選抜	外国語［英語］	小論文	口述試験
社会人特別選抜		小論文	口述試験

注 意 事 項

① 口述試験では、提出論文、論文要旨、研究計画書および各人の研究主題等について口頭試問を行います。
② 外国語試験、小論文は、試験開始１０分前に試験室へ入室、口述試験は５分前に入室すること。
　受験上の諸注意があります。
③ 試験開始から３０分を超えて遅刻した者は、受験することができません。
④ 外国語試験（英語）は、辞書のみ持ち込み可とします。ただし、電子辞書は不可です。
　使用する場合は、各自持参してください。貸与はしません。
⑤ 試験場には、受験票および筆記用具を持参してください（受験票未着の場合は、試験当日受付に申し出てください）

MEMO

修士課程
博士課程

博士前期(修士)課程・博士後期(博士)課程

＜共通＞

Ⅴ 合格発表

夏季入試	冬季入試
2026 年 8 月 6 日(木)12 時 00 分	2027 年 1 月 28 日(木)12 時 00 分

合否は、筆記試験、面接（口頭試験)、出願書類等の結果を総合的に評価して判定します。
合格発表は、大学井の頭キャンパス構内の掲示板での公示によって行います。
合格者には合格発表後、[合格通知書] および[入学手続書類一式]を送付いたします。
電話による問い合わせには応じません。

Ⅵ 入学手続きおよび学納金等

1．入学手続き期間

夏季入試	冬季入試
2026 年 8 月 17 日(月)15 時 00 分必着	2027 年 2 月 8 日(月)15 時 00 分必着

合格者には、入学手続書類一式を送付いたします。「入学手続要項」をご確認し、期間内に、提出必要書類を取り揃えて入学手続きを行ってください。

送付するもの

入学手続書類一式
- □ 学籍データ記入用紙［所定用紙］
- □ 誓約書[所定用紙]
- □ 写真[データ提供]
- □ 身元保証書(外国人)［所定用紙］
- □ 在留カード(写)添付用紙(外国人)[所定用紙]
- □ 学納金振込金証明書[大学提出用添付用紙］［所定用紙］
- □ 入学手続書類発送用宛名ラベル(所定用紙)　※角 2 封筒に添付

期日までに入学手続きが行われない場合は、入学が許可されませんので注意してください。
なお、提出済み入学手続書類は、いかなる事情があっても返却いたしません。

(1) 入国に関する手続きは大学では一切関与しません。また、保証人に関する事柄も大学では一切関与しません。
(2) 入学手続き後は、入学料の払い戻しは行いません。
(3) 日本国籍でない者（外国籍の者）は、入学手続きの際に日本での身元保証人が必要となります。(身元保証人は日本に在住する独立生計を営む方で日本語が理解出来る方に依頼してください)
(4) 入学手続き完了者で、入学を辞退する場合は、既納付金の返還手続きをした者に限り、以下のとおり取り扱います。既納付金返還期日前に手続きをした場合は、既納付金のうち入学料を除いたものを返還しますが、既納付金返還期日を超えた場合は、既納付金一切を返還しません。
(5) 卒業見込みの者で[入学許可書]を発行されたにも関わらず卒業できなかった場合は入学許可の取り消しとなり、入学を認めません。

博士課程
修士課程

２． 学納金等

博士前期課程	初年度（1 年次）		２年次
	入学時(前期) 1 ｾﾒｽﾀｰ	後期２ｾﾒｽﾀｰ	2 期に分けて納付
入 学 料 ※本学の学部卒業者は免除	250,000 円	―	―
授 業 料	225,000 円	225,000 円	450,000 円
施設設備費	100,000 円	100,000 円	―
学生教育研究災害傷害保険料(2 年分)	1,750 円	―	―
合 計	576,750 円	325,000 円	450,000 円
合 計 ※本学の学部卒業者	326,750 円	325,000 円	450,000 円

※本学の学部卒業者(卒業見込み者)が入学する場合には、入学金を免除します。(**※本人の申し出による**)

博士後期課程	初年度（1 年次）		２年次	３年次
	入学時(前期) 1 ｾﾒｽﾀｰ	後期２ｾﾒｽﾀｰ	2 期に分けて納付	2 期に分けて納付
入 学 料 ※本学の博士前期課程修了者は免除	250,000 円	―	―	―
授 業 料	225,000 円	225,000 円	450,000 円	450,000 円
施設設備費	100,000 円	100,000 円	―	―
学生教育研究災害傷害保険料(3 年分)	2, 600 円	―	―	―
合計	577,600 円	325,000 円	450,000 円	450,000 円
合計 ※本学の博士前期課程修了者	327,600 円	325,000 円	450,000 円	450,000 円

※本学大学院修了者（修了見込み者)が入学する場合には、入学金を免除します。(**※本人の申し出による**)

Ⅶ　その他

・長期履修制度について

長期履修制度とは、標準的な修行年次で修了が困難な者に限り、所定の在学年度の期間内で修行年限を延長し教育課程を履修することを認める制度です。

本制度の希望者には、必要資料を送付いたします。必ず教務課に問い合わせください。

制度の概要はホームページ参照。

事前に希望する指導教員に相談のうえ、出願資格有無確認(修士課程)・事前資格(博士課程)の書類提出期間中に長期履修制度の申請書の提出が必要になります。

・教育訓練給付金制度について

教育訓練給付金制度とは、教育訓練給付金とは、働く方々の主体的な能力開発やキャリア形成を支援し、雇用の安定と就職の促進を図ることを目的として、厚生労働大臣が指定する教育訓練を修了した際に、教育訓練経費の一部が支給されるものです。

杏林大学大学院国際協力研究科の「一般教育訓練」講座指定

- ○ 博士前期課程グローバル・コミュニケーション専攻
- ○ 博士前期課程国際開発専攻
- ○ 博士前期課程国際医療協力専攻

希望する者は、厚生労働省のホームページをご確認のうえ、入学後、ハローワークにて申請が必要です。

※長期履修制度と併用はできません。

大学院国際協力研究科　指導教員研究概要

指導教員	研　究　概　要	修士	博士
嵐（あらし）　洋子（ようこ）	1）日本語音声学・音韻論に関する研究	○	○
	2）日本語教育・学習方法に関する研究		
	3）日本語の多様性に関する研究		
岩本（いわもと）　和良（かずよし）	1）機能言語学に基づく英語イントネーション研究	○	—
	2）機能言語学に基づく談話研究		
	3）機能言語学に基づいた英語教育に関する研究		
大西（おおにし）　健司（けんじ）	1）憲法上・国際人権法上の子どもの権利に関する研究	○	—
	2）少年犯罪の推知報道規制に関する研究		
	3）子どもの権利・利益をめぐる法的紛争への治療的法学の適用に関する研究		
岡村（おかむら）　裕（ひろし）	1）社会福祉の原理に関する研究	○	○
	2）高齢者の介護政策に関する研究		
	3）マインドフルネスの活用方法に関する研究		
小田（おだ）　信之（のぶゆき）	1）動学的確率的一般均衡モデルに基づくマクロ経済の研究	○	—
	2）最適制御理論に基づく経済政策の研究		
	3）ニュー・ケインジアン・モデルに基づく金融政策の研究		
加藤（かとう）　拓（たく）	1）チェーン企業の店舗網管理活動（新規出店、店舗網最適化など）と企業成果に関する研究	○	—
	2）小売業・サービス業の海外・国内市場選定、立地選定に関する研究		
	3）顧客満足の源泉変化に関する理論・実証研究		
川村（かわむら）　真理（まり）	1）難民・移民に関する法制度の研究	○	○
	2）国際人権法の変容と国内適用に関する研究		
	3）国際機構の諸活動の正当性・実効性確保に関する研究		
北島（きたじま）　勉（つとむ）	1）HIV 検査や治療の提供方法に関する研究	○	—
	2）保健医療サービスへのアクセスに関する研究		
	3）保健医療財政に関する研究		
北田（きただ）　真理（まり）	1）国境を超える子の連れ去り・留置に関するハーグ子奪取条約の研究	○	—
	2）子の居所指定権と子連れ別居の法的評価に関する研究		
	3）ドメスティック・バイオレンスの法的評価に関する研究		
木暮（こぐれ）　健太郎（けんたろう）	1）比較政治学における理論研究と地域研究	○	—
	2）ガバナンス理論と現代民主主義に関する研究		
	3）デジタルガバメントに関する研究		
小堀（こぼり）　貴亮（たかあき）	1）日本における療養・保養温泉地（湯治場）の地域的展開に関する研究	○	○
	2）温泉地におけるウェルネス（ヘルス）ツーリズムに関する研究		
	3）歴史文化観光地の地域的展開と景観保全に関する研究		
斉藤（さいとう）　崇（たかし）	1）環境問題や資源エネルギー問題に関する研究	○	○
	2）環境経済学および環境政策に関する研究		
	3）経済学に関する理論研究		
坂本（さかもと）　ロビン（ろびん）	1）Comparative and International Development Education 分野に関する研究	○	—
	2）Intercultural Communication 分野に関する研究		
島村（しまむら）　直幸（なおゆき）	1）国際関係論	○	○
	2）アメリカ政治外交		
進邦（しんぼう）　徹夫（てつお）	1）コミュニティとその制度に関する研究	○	○
	2）まちづくりに関する研究		
	3）市民参加と協働に関する研究		

大学院国際協力研究科　指導教員研究概要

指導教員	研　究　概　要	修士	博士
高田（たかた） 京子（きょうこ）	1）負債の認識および測定に関する研究	○	—
	2）固定資産の認識および測定に関する研究		
	3）財務情報および非財務情報の監査に関する研究		
千野（ちの） 万里子（まりこ）	1）清代中国語の語彙・語法に見られる地域差に関する研究	○	—
	2）現代白話文の語彙・語法に見られる地域差に関する研究		
	3）普通話（標準中国語）の成立過程に関する研究		
西山（にしやま） 桂子（けいこ）	1）観光産業とグローバル経営に関する研究	○	—
	2）サービス産業の組織と経営に関する研究		
	3）宿泊・料飲ビジネス分野に関する研究		
原田（はらだ） 奈々子（ななこ）	1）近世期日本における帳合法の研究	○	—
	2）近世期ヨーロッパにおける会計史に関する研究		
	3）複式簿記の計算構造に関する研究		
半田（はんだ） 英俊（ひでとし）	1）近代の日本政治史に関する研究	○	—
	2）現代の日本政治史に関する研究		
	3）近代と現代の日本政治史に関する比較研究		
古本（ふるもと） 泰之（やすゆき）	1）観光地の形成過程と持続可能性に関する研究	○	○
	2）日本の観光地における文化観光の展開に関する研究		
	3）災害発生時などの復興における地域内観光人材の役割に関する研究		
松井（まつい） 孝太（こうた）	1）比較政治学における理論研究と実証研究	○	—
	2）現代アメリカの政治経済に関する研究		
	3）わが国および諸外国の社会保障制度に関する研究		
三浦（みうら） 秀之（ひでゆき）	1）国際政治経済学における理論研究と実証研究	○	—
	2）通商政策に関する研究		
	3）アジア太平洋・インド太平洋の国際関係に関する研究		
宮首（みやくび） 弘子（ひろこ）	1）日中医療通訳に関する研究	○	—
	2）日中会議通訳に関する研究		
	3）日中翻訳に関する研究		
森（もり） 和（まさし）	1）中国古代の文化・習俗に関する研究	○	—
	2）中国の神話・伝説に関する研究		
	3）中国の古文字に関する研究		
梁井（やない） 久江（ひさえ）	1）日本語文法に関する研究	○	○
	2）世界の中の日本語および日本語の中のバリエーションに関する研究		
	3）日本語教育に関する研究		
渡辺（わたなべ） 剛（たけし）	1）台湾・中国の社会変動と政治変動との相関研究	○	○
	2）台湾・中国の安全保障研究		
	3）　台湾・中国の政治体制研究		

※　2027 年秋学期 9 月入学を希望する場合には、一部指導できない教員がおります。

出願書類等提出及び問い合わせ先

杏林大学大学院国際協力研究科入試係

【住所】〒181-8612 東京都三鷹市下連雀５－４－１（井の頭キャンパス）
【TEL】 0422-47-8000（代表） 【受付時間】平日： 9:00～16:00
【E-mail】 kenkyuc@ks.kyorin-u.ac.jp